

(第3種郵便物認可)

# 八百長相撲事実上認定

## 東京地裁 解雇の元力士敗訴

八百長相撲への関与を理由に日本相撲協会を解雇された元十両・星風(28)モンゴル出身が協会に十両力士としての地位確認などを求めた訴訟で、東京地裁は24日、請求を棄却した。渡辺弘裁判長(竹田光弘裁判長代読)は「星(勝負)負(負)の回し合いのため故意による無気力相撲を行った」と判断し、事実上、八百長と認められた。元星風は記者会見で「納得がいかない。最後まで諦めない」とし、控訴の意向を示した。裁判は八百長相撲の存在が認められたのは初めて。(3面に「質問なるほど」16面に関連記事)

協会が昨年初場所の 相撲を認めたと元十両・星風(28)モンゴル出身が協会に十両力士としての地位確認などを求めた訴訟で、東京地裁は24日、請求を棄却した。渡辺弘裁判長(竹田光弘裁判長代読)は「星(勝負)負(負)の回し合いのため故意による無気力相撲を行った」と判断し、事実上、八百長と認められた。元星風は記者会見で「納得がいかない。最後まで諦めない」とし、控訴の意向を示した。裁判は八百長相撲の存在が認められたのは初めて。(3面に「質問なるほど」16面に関連記事)

## ツシマヤマネコ

環境省対馬自然保護官事務所は24日、長崎県対馬市厳原町久和の対馬・下島の山中で2月に採取したフンが、DNA分析で、絶滅の危機に瀕している国の天然記念物ツシマヤマネコのフンと確認された、と発表した。

## 対馬・下島 フンで確認

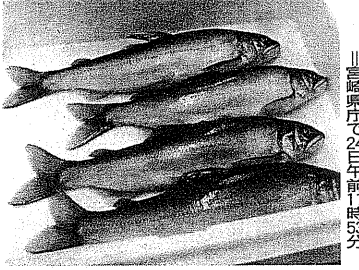
発見場所は下島の南端に近く、これまで生息が確認された最南端より約4キロ南だった。また昨年12月、今年1月、下島北部の美津島島根と今里で採取された計3個のフンも一匹のツシマヤマネコと判明。山中を数十枚移動していたことが確認されたという。ツシマヤマネコは対馬・上島を中心に生息し、下島では昔は減少している。西野雄一・自然保護官は「下島での生息を裏付ける貴重な情報だ。保護に役立てたい」と話した。

## アユの伝染病 善玉菌が抑制

### 宮崎大名誉教授 商品化へ



アユ漁獲量減少の一因とされる伝染病「冷水病」を自然界の善玉菌で防ぐ方法を開発した。前田昌調・宮崎大名誉教授(微生物学)が24日、発表された。これまで抗生物質投与による対症療法しかなかったが、完全無投薬に成功。県内の大手アユ採取業者の協力を得て、善玉菌を混ぜた飼料を昨年12月から4回アユに与えて実験した。この結果、過去10年以上続いていた冷水病の発症が今年はゼロになり、冷水病の発生を抑えることが分かったという。



冷水病はアユやサケ科の魚がかり、全国のアユ養殖場で頻発。県内の皮がはがれるなどし、大量死する。善玉菌アユの放流などで天然アユにも広まると期待されている。

無投薬で養殖されたアユ。業者は赤と色ユが天然ものに近いという。宮崎県厚志で24日午前11時53分

### 福島第1原発周辺の累積線量結果 (文部科学省調べ)

浪江町津島仲沖 (30°西北西)	60.540 (21日現在)
浪江町赤字木手七郎 (31°北西)	141.110 (21日現在)
飯館村長泥 (33°北西)	73.180 (21日現在)
いわき市三和町差塩 (39°南西)	1.808 (21日現在)
葛尾村上野川(31°西北西)	20.750 (21日現在)
福島市杉妻町 (62°北西)	5.228 (21日現在)

※単位はμSv/h。1μSvは1000mSv。カッコ内は福島第1原発からの距離。累積線量は昨年3月25日(福島市は同24日、いわき市は同25日、葛尾村は4月8日)からの値。

## ◆大気中の環境放射線量◆

都道府県	23日	三重	0.067	※文部科学省発表。単位はμSv/h。1μSvは1000mSv。二桁以下は測定値から推定した値を以て示す。
北海道	0.037	滋賀	0.063	
青森	0.032	京都	0.046	
岩手	0.038	大阪	0.080	
宮城	0.061	兵庫	0.072	
秋田	0.051	奈良	0.077	
山形	0.076	和歌山	0.079	
福島	1.03	鳥取	0.074	
茨城	0.085	島根	0.062	
栃木	0.083	岡山	0.071	
群馬	0.071	広島	0.083	
山梨	0.049	山口	0.076	
長野	0.059	徳島	0.067	
新潟	0.060	香取	0.063	
富山	0.043	愛知	0.082	
石川	0.059	高知	0.035	
福井	0.063	福岡	0.060	
山梨	0.051	佐賀	0.059	
長野	0.057	長門	0.054	
山梨	0.051	熊本	0.043	
山梨	0.063	大分	0.053	
山梨	0.064	宮崎	0.032	
山梨	0.041	鹿児島	0.032	
山梨	0.065	沖縄	0.021	

## 毎日希望奨学金

毎日新聞社と毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団は、東日本大震災で保護者を亡くした遺児を応援する「毎日希望奨学金」を創設し寄付を受け付けています。■郵便振替 毎日新聞大阪社会事業団(00970・9・12891)。「奨学金」と明記。■現金書留 〒530-8251 大阪市北区梅田3の4の5、毎日新聞大阪社会事業団「希望奨学金」係。■銀行振り込み 三菱東京UFJ銀行大阪営業部(普通0257441)。口座名は公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団。

「毎日希望奨学金」は、東日本大震災で保護者を亡くした遺児を応援する「毎日希望奨学金」を創設し寄付を受け付けています。■郵便振替 毎日新聞大阪社会事業団(00970・9・12891)。「奨学金」と明記。■現金書留 〒530-8251 大阪市北区梅田3の4の5、毎日新聞大阪社会事業団「希望奨学金」係。■銀行振り込み 三菱東京UFJ銀行大阪営業部(普通0257441)。口座名は公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団。

## 震災救援金

東日本大震災救援金も引き続き受け付けています。郵便振替は、毎日新聞西部社会事業団(01770-2-40213)。現金書留は、〒802-8651 北九州市小倉北区紺屋町13の1、毎日新聞西部社会事業団「東日本大震災救援金」係と明記してください。寄付者名を紙面に紹介いたします。匿名を希望される方は「匿名希望」と明記してください。

## 「ロシアNOW」発行へ

【モスクワ田中洋之】毎日新聞社が6月からロシア紙「ロシア新聞」と提携し、ロシアの今を伝える新聞

## 日本人デザイナー釈放

【ニューヨーク共同】米ニューヨーク州の裁判所は23日、電飾作品を路上に設置したところ、偽の爆弾を仕掛けた容疑でニューヨーク市警に逮捕されたデザイナー、宮川剛毅(50)を釈放する決定をした。米メディアが伝えた。弁護士は訴追取り下げを求めた方針を示している。

事件は19日未明発生。宮川氏がニューヨークのデザイン週間に合わせて、同市ブルックリンの路上で「アイ・ラブ・ニューヨーク」と書かれた袋にLED電球を入れた作品を樹木や電柱に取り付けたところ、通行車の通報で駆けつけた警察官に逮捕された。

## 日産19万台リコール

日産自動車は24日、ワンボックスカー「キャラバン」といすゞブランドで製造する「コモ」の2車種計19万4434台(01年5月～11年7月生産)の前輪やクラッチ、排気装置などの部品に不具合があるとして、リコール(回収・無償修理)を国土交通省に届けた。前輪に使うベアリングが壊れ走行が不安定になる▽自動変速機のケーブルの固定が適切で変速しなくなる――などの恐れがある。日産によると、メキシコ、タイなど海外にも対象車を約18万6000台輸出しており、同様にリコールする。

## パナ除湿機7万台も

パナソニックは24日、04年12月から07年1月までの期間に製造した除湿機で発火事故が発生したとして、計7万4938台を対象にリコールを実施すると発表した。代替品と無料で交換する。

内部の熱を帯びるコイルが、樹脂製カバーに接触して発火したと判断した。コイルの組み立てが不十分だったことが原因と説明している。対象は全て「ナショナル」ブランドの除湿機で、品番「F-YHA100」が3万3411台、「F-YHB100」が4万1527台。パナソニックによると、発火事故は09年3月から12年3月にかけて埼玉、兵庫、熊本各県で計3件発生。除湿機本体が焼け、カーペットや床、天井などが焦げた、けが人はなかった。問い合わせは専用フリーダイヤル(0120・228・285)。

された三菱東京UFJの判断をする必要があり、銀行がイラン向けの決断。

日本とイランの貿易に不快感を隠さない。総額は約1兆1000億。

かねない。一方で、決着停止によって実書を

だ。八百長と故意による無気力相撲を別物と認定したわけではない。

を繰り返す、ナスダックを握る。その後の株価は、市況が勝利した経緯、下落をめぐっては、投

## ニユースをさわ



毎日新聞社とスポーツニッポン新聞社が創刊した新で生中継されていくニユース媒体「TAP」0人以上が視聴できる「i-TAP」の心の高さがつうが発表記者会見が24日、東京都千代田区のKKRホテル「ニユース」で開かれた。約100人は、普及が人の報道関係者が詰めかけ、スマートフォン、多端話、i-Pad

創刊されるデジタルニュース媒体「TAP-i」  
—東京都千代田区で24日午後3時7分、久保玲撮影

然アユの漁獲量は昨年、2700トンまで激減している。早ければ年内にも養殖用飼料として商品化する計画。前田名誉教授は「薬品を使わない食品への期待が非常に高い。消費者の安心につながる」と話している。【前田昌調、写真も】

## 赤十字総裁 活動を紹介

本社社長と会談 紛争犠牲者の保護や救援活動を行う赤十字

ケレンベルガー氏はシリアやアフガニスタンなど紛争地での活動を紹介します。紛争下で活動する最大の人道支援機関として、医療や自立に向けた生活再建の支援をしており、「緊急事態が起きた時、すぐ派遣できる体制を整えている」と述べた。朝比奈社長は「報道を通して」